

外来化学療法室では、医師、看護師、薬剤師、看護助手など様々なスタッフが協力して患者さんの治療にあたっています。今回は、外来化学療法室での薬剤師の仕事を紹介します。

外来化学療法室での薬剤師の業務は…

☆医師のオーダーに沿って、患者さん一人一人に合わせた抗がん剤の点滴を調製。

☆がん化学療法の副作用対策を中心としたお薬の説明。

などを行い、医師、看護師など他のスタッフとコミュニケーションをとりながら、治療を受ける患者さんのサポートをしています。

☆抗がん剤の調製について☆

抗がん剤の調製は、外来化学療法室の奥にある調製室という部屋で行っています。調製室には下のような「安全キャビネット」という装置があり(写真1)、この中で抗がん剤を混ぜています。



(写真1) 安全キャビネット

- ・安全キャビネット内には、特殊なフィルター(HEPA フィルター)を通した清潔な空気が入り、室外に排気されるようになっています。
- ・安全キャビネットを使用する目的は、患者さんに投与する点滴を清潔な状態で調製するためと、調製時に抗がん剤にふれないようにするためです。

私たち薬剤師は、抗がん剤を調製するときにはこのような格好をしています。

どうぞ、よろしくお願いします！



☆お薬の説明(服薬指導)について☆

現在、化学療法室ではがん化学療法を初めて受ける方、お薬の説明を希望される方を対象として、抗がん剤の作用・副作用などについてお話しています。

お薬に関して不安なこと、薬剤師への質問などがありましたら、外来化学療法室のスタッフまで声をおかけ下さい。

